

事業番号	250
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	一級河川改修事業						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	河川課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	河川係		
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		26 河川・水路		1 河川整備を促進する				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	3	目	3	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	県河川の拡幅整備に伴い、小牧市の水路敷を付け替えて以前と同等の機能を有するようになる。									
	内容 (手段)	<p>           県河川及び県道拡幅用地の内に取り込まれた小牧市の水路の機能復旧ができるための用地を堤内等で買収する。            新たに県により施工された水路等の工作物の占用許可を受けると共に、その工作物管理のための排水路等の調査を実施する。         </p> <p>           ○平成24年度            ・河川占用許可申請書作成業務の委託 1件(委託料1,365千円)            中江川:樋管1ヶ所、流域調査         </p> <p>           ○平成25年度            ・県道明知小牧線公共補償 (公有財産購入費等:2,052千円)            用地購入 4筆 43.74m<sup>3</sup>            【財源】            公共補償事業負担金(愛知県) 2,020千円         </p> <p>           ・河川占用許可申請書作成 (委託料:940千円)         </p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	4,147	1,365	1,365	2,992	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	533	533	533	533
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	4,680	1,898	1,898	3,525		
	対前年比	%		40.5	100.0	185.7		
財源	一般財源	千円	4,680	1,898	1,898	1,505		
	国・県支出金	千円	0	0	0	2,020		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	業	用地購入筆数	筆	目標	0	0	0
実績				0	0	0	
業	占用許可	カ所	目標	4	4	3	2
			実績	7	5	1	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			目標				
績	用地購入筆数	筆	目標	0	0	0	4
			実績	0	0	0	
績			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	県が施工する中江川等の一級河川整備事業に伴い、市管理の放流樋管の占用許可及び流入排水路の調査を行ない、樋管施工したことにより、管理区分等が明確になった。		
		事業実施における課題	県事業である一級河川及び県道拡幅事業の進捗状況により事業量の増減があり、各年度ごとの事務量を確定することが難しい。		
		事業を縮小・廃止したときの影響	県が実施する事業に伴い市が実施すべき事業であり、他に類似する事業が無い事から廃止すれば、県事業の進捗にも大きな影響を及ぼすこととなる。		
	改善内容	平成25年度の	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	県事業である、一級河川及び県道等整備事業について早い時期に情報収集を行う。	
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
	判定理由	一級河川及び県道等整備の事業主体が県であっても、市民にとっては密着した事業であり、市として事業を進めていく必要があるため、維持と判断した。			
	26年度以降の改善案	県事業である、一級河川及び県道等整備事業について県と連絡を密に行い、早い時期に情報収集を行う。			

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。